

平成25年 松江北高10大ニュース (日付順)

(注) この記事は足立芳樹教頭 (高28) に特別制作のご協力をいただきました。

1 H25. 3. 31 **国公立大学 (現浪計) 197名合格**

東京大学5名、京都大学4名、国公立大学医学科12名を含む197名の生徒が国公立大学に合格した。また、私立大学の合格者数は、延べ285名であった。

(放課後の自習)



2 5. 24~6. 1 **第51回島根県高等学校総合体育大会 4年連続14度目の男子総合優勝**

男子総合の部において、14度目の優勝を飾った。男女総合の部は、惜しくも優勝出来ず3位であった。(今年までの男女総合優勝の回数は、51年間の県総体の歴史において、昭和の時代に6回、平成の時代に17回、合計23回である。)

(県総体結団式)



3 7. 21~7. 25、7. 29~8. 2、12. 21~12. 25

東日本大震災「島根県災害ボランティア隊」北高生11名参加

島根県社会福祉協議会が主催する東日本大震災の被災地の復興支援ボランティアに、夏・冬合わせて11名の生徒が参加し、宮城県南三陸町においてボランティア活動を行った。



4 8. 2、8. 22、H26. 2. 7 **文化系活動において全国大会入賞3名**

- ①全国高等学校総合文化祭小倉百人一首かるた読手部門で、岡田優 (3年) が、第2位を受賞した。
- ②全国高校生英語弁論大会で、安楽万智子 (2年) が国際交流基金理事長賞 (第4位) を受賞した。
- ③青少年読書感想文全国コンクールにおいて、木島翔子 (2年) が、全国学校図書館協議会長賞を受賞した。

(全国高校生英語弁論大会)



5 11. 22 **教室棟の耐震化工事・リフレッシュ工事終了**

教室棟の耐震化工事・リフレッシュ工事が終了した。この工事のため、一部の教室が使えず、第1グラウンド内の南側にプレハブ教室5部屋を設置し、モザイク教室として活用した。



6 12.3 **世界の人たれ講演会**

本校卒業生の中で、様々な分野の第一線で活躍されている方に依頼し、1・2年生に対して、講演会を開催している。本年は、東京双松会会長である株式会社商船三井の芦田昭充代表取締役会長に、「人生はチャレンジの連続」という演題で講演を行っていただいた。



7 12.6 **島根県高校生「人権の詩」において最優秀賞・優秀賞**

島根県が、全県の高校生を対象として、人権に関する詩の募集を行い、最優秀賞には、貴谷眞名（2年）の「あなたとわたしのうた」が選ばれた。また、荒川奏愛（2年）が優秀賞を受賞した。そして、この最優秀賞の詩をもとに、北高出身のシンガーソングライター山根万理奈が曲を付け、CD化された。

（県知事室において、知事より表彰）



8 12.21～23 **全国高等学校弓道選抜大会 女子団体5位**

弓道部は、昨年続き、島根県弓道選抜大会で女子が団体優勝し、さらに、全国高等学校弓道選抜大会において、5位入賞を果たした。



9 H26. 1. 31 **西川津校舎跡地の記念碑の移動**

西川津校舎跡地には、記念碑が、昭和54年に建立されている。記念碑には、兼折博元北高校長による「若かりし日のわが夢ぞそこに狭霧ふ」と記してある。この跡地は、旧県立プール跡地のため、松江市の整備計画に伴い、旧県立プールが解体され、跡地を新体育館建設の工事ヤード及び臨時駐車場として利用される計画である。そのため、記念碑を旧県立プール跡地内の南東部へ仮移動させることが決定され、12月に移動が完了した。現在は、周囲の道路から見る事が出来る。

なお、松江市によれば、平成28年に多目的広場整備計画を決定し、平成29年工事を着工する予定とのことである。



10 H26. 3. 1～3. 7 **北高第1回国際研修 in U. S. A**

グローバル社会において、国際感覚と広い視野をもって、考え、行動できる人材の育成のために、今年度はじめて企画した事業である。

参加希望の1・2年生6名が、1週間、米国ロサンゼルスを訪れ、ホームステイ、英語研修、現地高校生との交流、カリフォルニア州立大学訪問などの研修を行う。

